

もくじ	
新年のごあいさつ	2
特集 第20回絵のまち尾道四季展 入賞作品紹介	5
市税等の申告相談	8
新型コロナウイルスワクチン接種のお知らせ	10
くらしの窓	11
尾道税務署の確定申告/マイナポイントの申込支援 他	
健康・福祉	13
公開講座「市民のためのがん最前線」他	
子育て	15
新1年生へ入学通知書を発送/就学援助 他	
スポーツ	18
市民カローリング大会 他	
芸術・文化	19
第76回本因坊秀策囲碁まつり 他	
情報アラカルト	22
尾道観光親善大使募集/せとだレモンマラソン 他	
相談	26
みんなが輝くために	28

人の動き [12月21日現在] ※()内は前月比。



64,100世帯 (-85)
 人口 男性 63,029人 (-108)
 女性 67,102人 (-53)
 計 130,131人 (-161)

市内の交通事故 [12月21日現在]

令和5年広島県
交通安全年間スローガン
運転は
ゆとりとマナーの 二刀流

件数 207件 (+40)
 負傷者 208人 (+52)
 死者 1人 (-6)
 ※()内は前年比。

今月の納期限
1/31(火)

市県民税④
 国民健康保険料⑦
 介護保険料⑦
 後期高齢者医療保険料⑦

今月の表紙



令和5年、新しい年が始まりましたね。表紙写真は、千光寺山から臨む12月中旬の日の出です。皆さんにとって素晴らしい1年となりますようにと思いを入れて、カメラのシャッターを切りました。

尾道市役所 0848-38-9111	百島支所 0848-73-2701
因島総合支所 0845-22-1311	浦崎支所 0848-73-2001
御調支所 0848-76-2111	消防局 0848-55-9120
向島支所 0848-44-0110	尾道市立市民病院 0848-47-1155
瀬戸田支所 0845-27-2211	公立みつぎ総合病院 0848-76-1111

トピックス—Topics—



千光寺「すす払い」

12月13日(火)、千光寺で年末恒例の「すす払い」が行われました。

檀信徒やNPO法人空き家再生プロジェクトの皆さん約30人により、鐘楼や境内の1年間の汚れが払われました。

多田真祥住職は、2023年について「悪いことが早く去り、よい方向へ向かう年になるといい。」と願っていました。また、干支のウサギにちなんで「ステップアップの年として頑張してほしい」と話していました。



市内2カ所でイルミネーションがスタート



尾道駅前港湾緑地と、東尾道駅近くの黒崎水路の遊歩道の2カ所で、ウィンターイルミネーションが始まりました。点灯は、毎日日没～21:00まで、期間は2月末までです。

冬の夜に、いつもと違った尾道の散策をお楽しみください。

市長表敬訪問/敬称略

第28回全国ジュニア・ラグビーフットボール大会出場

(令和4年12月24日～26日 = 東京都)

■尾道ラグビースクール所属

橋本 湊介 (尾道中学校)
 峰原 浩志郎 (三原市立本郷中学校)

■広島ラガー・ジュニアラグビー スクール所属

小田原 功汰 (向東中学校)



広報おのみち1月号に掲載の行事については、新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、縮小・中止の可能性があります。事前に主催者にお問い合わせの上、ご参加ください。

特集

第20回 絵のまち尾道四季展 入賞作品紹介

尾道を題材にした絵画作品を公募する「絵のまち尾道四季展」。昭和58年に始まり、2年に1度のビエンナーレ形式での開催を続け、20回目を迎えました。今回も、出品者それぞれのアイデアやイメージを加えた、347人・全435点もの個性的な作品が寄せられました。

大学教授など4人の審査員により作品審査会が行われ、選ばれた入賞作品のうち、23点を紙面でご紹介します。

☎絵のまち尾道四季展運営委員会事務局 (尾道市立美術館内 ☎0848-23-2281)

入賞作品
全23点
(敬称略)



尾道賞 グランプリ



「尾道七夕まつり」

田原 馨 (広島県)
油彩



小林和作賞



「5月の尾道」

小林 圓史朗 (兵庫県)
油彩



技術だけでなく、作品に込められた「心」も 大切に審査しました

審査をする中で、それぞれの世界でそれぞれの哲学や世界観でしっかり描いてらっしゃるのを見てきました。

尾道に来て、見て、感じて、尾道を描きたいと思う、そのあたたかい気持ちや情熱、ちょっとした興奮や感動が素直に出ている作品が私は好きで、そういう尾道に対する愛情を感じられることが私の場合は審査の基準となりました。

グランプリ作品は、絵の密度があることや、尾道らしい場所がぱっと華やいだ雰囲気であることが審査の決め手となりました。その他の作品も、それぞれのスタイルや個性、工夫が入っていました。

世の中、色々なことがあります。絵画という表現はどんな世情の中でも表現が成り立ちますし、一緒に絵を描く感動や喜びを味わったりできる素敵な世界です。尾道への愛情のある人ならどなたでも応募できる開かれた作品展ですので、次回もたくさんの応募をお待ちしています。



審査員長
奥山 民枝
[尾道市立大学
名誉教授]